

○神経ブロック

難治性疼痛に対する神経ブロック等につきましては、麻酔科と連携をして治療を行っています。

○希少がん

希少がんとは、「10万人あたり6例未満のがんで、数が少ないために診療・受療上の課題が他のがんよりも大きいもの」の総称で、一般的ながんと比較して発生率が低い、まれながんのことを言います。当院では県立がんセンター新潟病院及び新潟大学医歯学総合病院と連携して適切な医療を提供しています。

○小児がん

小児がん（15歳未満）の患者さんが安心して質の高い医療や支援が受けられるよう、県立がんセンター新潟病院及び新潟大学医歯学総合病院と連携しています。

○AYA世代のがん

AYA世代（15歳から39歳）に対するがん治療は、主に卵巣、精巣等の機能に影響を及ぼすため、妊娠・出産を希望する患者さんはその対応策が必要になります。当院では支援を要する場合には県立がんセンター新潟病院及び新潟大学医歯学総合病院と連携して対応しています。

○妊孕性温存療法

がんの治療を開始する前に、あらかじめ精子や卵巣、受精卵、卵巣組織などを凍結保存して妊孕性（妊娠するために必要な能力）を残しておく「妊孕性温存療法」が普及しつつあります。当院では新潟大学医歯学総合病院と連携して対応しており、ご相談もお受けしています。

○がんゲノム医療

がんゲノム医療とは、がん細胞のゲノム（DNAのすべての遺伝情報）を調べて、患者一人ひとりの遺伝子変異に基づいて行うがん治療です。BRCA遺伝子検査については当院で対応しておりますが、がん遺伝子パネル検査については新潟大学医歯学総合病院のがん遺伝子外来に紹介しています。安心して治療が受けられるよう、県立がんセンター新潟病院及び新潟大学医歯学総合病院と連携しています。